

# STUDIO MOUN

STUDIO MOUN Architecture & Designing



私たちが大切にしているのは、『視点の非ブランド化』です。

例えば、「山」のイメージを言葉で伝える時、人によって様々な場面を想像します。  
山登りでふと立ち止まった時に足元に咲いている花や、  
青々とした緑豊かな自然。または、振り向いた時に目の前に広がる街の景色。  
その人の経験や思い出から、「山」のイメージは無限に生まれます。

私たちは、一人では見るができなかった「空間」のイメージを  
二人で創っていきたいと考え、山 (mountain) を元にした “MOUN” という屋号をつけました。

“MOUN” という未完成の文字には、常に考え、創り続けるという意味も込められています。

小さな発見も豊かに、その場所だからこそ生まれる場面を色鮮やかに。  
様々なイメージを研ぎ出しながら、一つの「心地よい空間」を目指します。



photographer / airi

## Architectural &amp; Interior Design

## PAST WORKS

2013~

## FOOD

鮨 品川	@福岡 改装 RC	48 m <sup>2</sup>
鮨 ほまれ	@福岡 改装 W	73 m <sup>2</sup>
甚六鮨	@福岡 改装 S	93 m <sup>2</sup>
鮨 木島	@福岡 改装 RC	100 m <sup>2</sup>
寿司の次郎長	@福岡 新築 W	148 m <sup>2</sup>
パークたまごおにぎり本店 櫛田表参道店	@福岡 改装 RC	70 m <sup>2</sup>
うまかんもん小野・豚麺家	@福岡 改装 S	350 m <sup>2</sup>
あずまや	@福岡 改装 S	100 m <sup>2</sup>
鉄板 半田 匠	@福岡 改装 RC	50 m <sup>2</sup>
嬉野焼鉄板焼 えん	@佐賀 改装 W	95 m <sup>2</sup>

## SHOP

ARITA PORCELAIN LAB (Cafe/Shop/Gallery)	@佐賀 改装 S	315 m <sup>2</sup>
JONAI SQUARE (TV station/Cafe/Event space)	@佐賀 改修 RC	400 m <sup>2</sup>
OBJECTUM CASA (Interior shop)	@福岡 改装 S	160 m <sup>2</sup>
OREC green lab FUKUOKA(Cafe/Event space)	@福岡 改装 RC	300 m <sup>2</sup>

## HOUSE

SU House	@長崎 改修 RC	2F 270 m <sup>2</sup>
KI House	@佐賀 新築 W	1F 165 m <sup>2</sup>
UN House	@福岡 改装 W	2F 70 m <sup>2</sup>
FT House	@佐賀 改装 W	2F 25 m <sup>2</sup>
MM House	@佐賀 新築 W	2F 100 m <sup>2</sup>
HT House	@福岡 新築 RC	2F 380 m <sup>2</sup>
KM House	@福岡 新築 W	1F 140 m <sup>2</sup>
UN House	@福岡 新築 W	2F 95 m <sup>2</sup>
A House	@沖縄 新築 CB	1F 100 m <sup>2</sup>
M House	@沖縄 新築 RC	2F 80 m <sup>2</sup>

## OFFICE BUILDING

KOZAISTEEL (Office building)	@福岡 改修 S	6F 1300 m <sup>2</sup>
博多駅前ビル (Tenant building)	@福岡 新築 S	2F 200 m <sup>2</sup>
KADoNo (Tenant building)	@福岡 新築 RC	3F 290 m <sup>2</sup>
Femin (Office building)	@福岡 新築 S	3F 560 m <sup>2</sup>

## OFFICE INTERIOR

吉田屋 (Office)	@佐賀 改装 S/W	60 m <sup>2</sup>
SBS (Office)	@福岡 改装 RC	160 m <sup>2</sup>
RITSUBI (Office)	@大阪 改装 RC	240 m <sup>2</sup>
breath company (Office)	@福岡 改装 RC	80 m <sup>2</sup>

## HOTEL / INN

宿屋ひととき (Inn)	@福岡 改装 RC	215 m <sup>2</sup>
をりから吉田屋 (Inn)	@佐賀 新築 W	300 m <sup>2</sup>
トランジットオーバーナイトホテル (Hotel)	@沖縄 新築 R	

## MEDICAL FACILITY

渡辺病院 (Hospital)	@福岡 増築 改装 S/RC	
坂上整形外科 (Hospital)	@長崎 改修 RC	



Interior Design

## sushi/teppan 銀の桃

2018

福岡県久留米市の繁華街を抜けた通りにできた sushi/teppan 銀の桃は、肉寿司と鉄板焼きの店である。

計画地は葉 祥栄氏が設計した2階に住宅をもち1階中庭を中心にいくつかのテナントがある建物であり、路地の中に入り込んだようなアプローチを抜け中庭に面したテナントの正面に位置している。

プロジェクトでは、落ち着いた雰囲気の中、楽しんで欲しいという施主の要望と共に、料理人とお客さんが一つの食卓を共有し、偶発的な会話が生まれるような「食卓」がテーマの空間を考えた。

ファサードには賑やかな食卓をガラス越しの背景とし食欲を引き立てる三色の暖簾を染色家による鮮やかな自然染色で表現しつつ通りからのアイキャッチとなるように表現している。

中庭から内部に連続する床の唐津石は、丁寧に部分的に補修を施し磨きをかけ再利用した。天井は塗装されていた梁は研磨し元のコンクリート梁を露出させることで、天井のラインを限界まで引き上げより深い奥行き感を持たせている。

内部空間は食卓が浮かび上がるよう構成とし、幅1.2m長さ9.0mのテーブルを中心に調理空間と客席が囲い込む一つのテーブルとなっている。

テーブルの一部には70cm×2.7mの鉄板を鮨店の付け台のように利用できるプレートをスチールで製作し、鉄板から跳ね出した浮き上がるようなデザインとしている。

また、夜の街に置いて繁華街のネオンは煌々と明るく、ふと路地に入れば、その照度が抑えられ妖しくも色気を含んだ月明かりを感じることがある。

その街の様相をスポットとして随所に取り込み、外部の垂鉛メッキのサインやオリジナルの照明などに散りばめることで夜の町との繋がりを意識した。

物件名：sushi/teppan 銀の桃

用途：鉄板焼き店

面積：73.00㎡

計画期間：2018年8月～2019年12月

計画地：福岡県久留米市六ツ門20-6

竣工：2019年4月

設計：STUDIO MOUN

施工：立石弟ガラス

グラフィック：かぶとむし 井形寛

暖簾染色：染織工芸舎 田祥 田中祥允

造形作家：Jackalope studio 藤瀬大喜

照明計画：Modurex 小山良平

写真：Blitz Studio 石井紀久, STUDIO MOUN



Interior Design

## TAKAKO`S ROOM

2020

福岡県久留米市の繁華街に位置するおかま BAR

TAKAKO`S ROOM は大小様々なキャバクラやスナック、飲食店が軒を連ねる繁華街のビルの一歩奥にある。

店名や看板も無い鉄のドアに青の光彩を纏わせ、ある種お客さんが来ることを拒んでいるかのようなその様は逆に挑戦することを強いるような感覚さえも持ち合わせながら奇妙な出で立ちで佇んでいる。

その店に向かうまでの道のりは、ドキドキやワクワク感、超えてしまうのではないかと一種のヒヤリハット体験も想像しながらの道のりに様々な妄想やイメージを膨らませるだろう。

しかし、そのドアを開けると笑い声が溢れる 120%の裏切りとママの飛び切りの笑顔が迎え入れ、カウンター席正面の額縁のようなバックセットはピンクの光彩を背景に艶めいた光を放ち一夜の感性探検をまるで絵画のように彩りママの笑顔と相まって、思わず時間が経つのを忘れてしまうような危うさも持ち合わせている。

訪れるまでのストーリー性とそこでの体験を大切にしながら、オリジナルのコミュニケーションツールとして火をつける通称 LOVE マッチを製作しコミュニケーションを誘発させるような仕組み作りや、普段は本の編集等も手掛けるライターさんと共に空間体験とストーリー性をより際立たせるような文章等を作成し、SNS の冒頭に掲げることでメッセージを放っている。またグラフィックにも展開させることでより世界観を作り出すような新たな試みにも挑戦している。

今回、客として訪れることをイメージし、議論を重ねていくことで、設計過程にその内面を覗き見るような設計手法がとても楽しく、進めてきたプロジェクトである。

お酒。それは人を集わせ、人を慰めながら  
こんにちの社会形成を支えてきた、神秘の立役者。  
奇しくも賢く、時には苦しい生き物だからこそ  
お酒の力を信じ、たまにはお馬鹿になってみるのは、  
人に授けられた、生きる術ね。  
わかっている。だからしんと、こころさみしい夜。  
扉の奥の性母・たかこの胸に、いらっしゃい。  
一夜の感性探検、癒しのひとときがあなたに届きますように

文：コモン編集室 岡島佐和

物件名：TAKAKO`S ROOM

用途：オカマバー

面積：73.00 m<sup>2</sup>

期間：2019年11月～2020年04月

計画地：福岡県久留米市日吉町 13-37 3F

設計：STUDIO MOUN

施工：CORE planning office

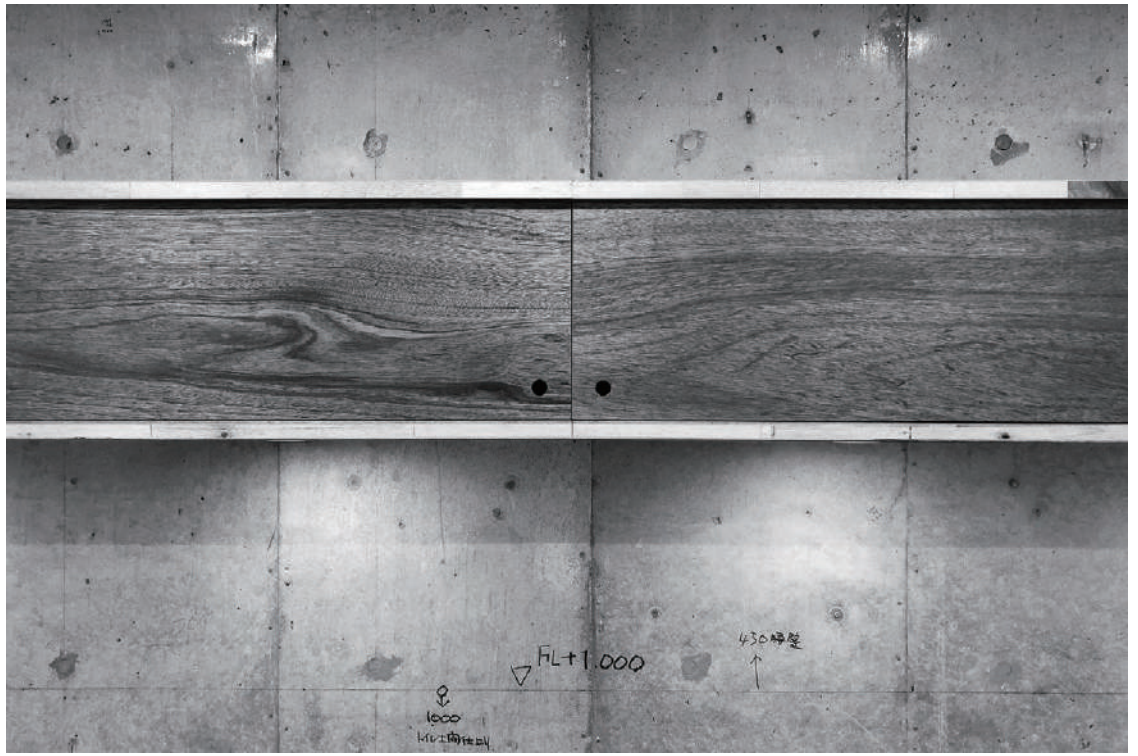
graphic：かぶとむし 井形寛

writer：コモン編集室 瀬口賢一、岡島佐和

ディスプレイ：relier 池上豊

照明計画：Modurex 小山良平

写真：Blitz Studio 石井紀久、STUDIO MOUN



## Interior Design

*Stong Café Powered by REC COFFEE, care shop Terrasis*

2020

室数 82 室を有する住宅型有料老人ホームの 1F に位置する  
カフェと福祉用具ショップ二つの機能をもつ計画である。

場所は福岡県の西区にあり、周辺にはショッピングモールや住宅街が  
立ち並ぶ地域での計画であった。

クライアントは有料老人ホーム、デイサービス、訪問看護まで行う福祉事業の  
プロフェッショナルであり、介護が必要な世代だけではなく、幅広い世代や  
周辺住民等が福祉をもっと身近に考えられないだろうかとのことから、  
スタートしたプロジェクトであり、ダイスプロジェクトと協働で進めてきた  
プロジェクトである。

計画では入り口側に「Stong Cafe Powered by REC COFFEE」があり、  
カフェの奥には、介護用品ショップ「Care shop Terrasis」という一つの  
テナントの中に 2 店舗が緩やかに繋がってる構成となっている。

空間構成としては、ケアショップの什器を空間と一体的に木軸で製作し  
テナントの中に挿入することで緩やかに空間を分設している。  
また、できる限り同じ材料を用いることでコストコントロールを図り、  
什器と一体的にデザインしている。

カフェスペースでも同様に木軸を利用し暖かくも柔らかい木軸構成とすることで  
全体のバランスを取ることにした。  
メインエントランスの手前にはキッズスペースを設け家族でも利用しやすい場所  
としている。

店舗名：Stong Café Powered by REC COFFEE ,  
care shop Terrasis

用途：カフェ、福祉用具ショップ

計画面積：172 m<sup>2</sup>

計画期間：2019 年 11 月～2020 年 04 月

計画地：福岡市西区姪の浜 2-28-43

設計：STUDIO MOUN(※DICE PROJECT との共同設計)

施工：DICE PROJECT

サインデザイン：犬山祥子

写真：Blitz Studio 石井紀久, STUDIO MOUN

